

さたけ散歩

第12号

◇次号予告◇

次回のテーマは「サザエさんに会える町 桜新町」

東京都世田谷区桜新町を特集します。



天空の塔 東京スカイツリー 押上



京成橋より

東京スカイツリー（東京都墨田区）



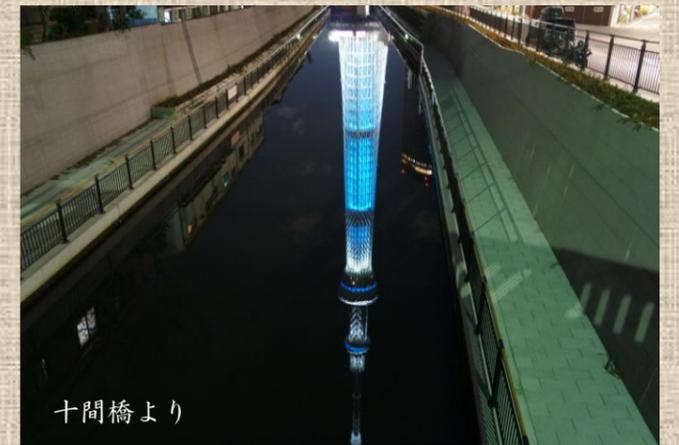
十間橋より

東京都墨田区押上一丁目にある東京スカイツリーは東京の新名所として平成24年2月29日に竣工しました。全高634mは自立式鉄塔としては世界第1位の高さとなっています(平成26年現在)。東京スカイツリーの筆頭株主である根津嘉澄(ねづよしずみ)東武鉄道社長は、平成24年5月14日に行われた開業記念式典後の記者会見において「浅草寺が創建された628年に因み、628mの案もあった」とい



源森橋より

北十間川に架かる全長16m、幅35mの源森橋(げんもりばし:地図②)からは、広い空を背景として川面に浮かぶ屋形船や東武鉄道の車両、東京スカイツリーが一体となった写真を撮影することが出来ます(写真左、下)。下町の風情が漂う空間と、近未来的な東京スカイツリーの姿とが見事に融合しています。



十間橋より



十間橋より

隅田川と旧中川を結ぶ北十間川(きたじっけんがわ)に架かる全長約19m、幅約15mの十間橋(じっけんはし:地図①)。東京スカイツリーと北十間川にその姿が逆に写る、“逆スカイツリー(写真上)”の両方が見られることから、代表的な撮影スポットとなっています。



東武橋より



源森橋より

東京スカイツリーは2つの異なるライティングを一日毎、交互に替えています。一つは隅田川をモチーフとした淡いブルーの光の「粋」。もう一つは江戸紫を基調とした「雅」と呼ばれるもの。また、特定日にはさらに色調の違うスペシャルライトアップが実施されること



源森橋より



東京スカイツリータウンは東京スカイツリーを中心に、東京ソラマチ(商業施設)、すみだ水族館、コニカミノルタプラネタリウム“天空”in東京スカイツリータウン等で構成されています。



東武橋より



■ アクセス
東武鉄道伊勢崎線とうきょうスカイツリー駅下車すぐ



押上を歩いて

東京スカイツリーの完成から遡ること約180年前の江戸時代後期、浮世絵師・歌川国芳(うたがわくによし)が描いた『東都三ツ股の図』には、スカイツリーとほぼ同じ場所にスカイツリーに酷似した謎の塔が描かれているのです(写真上:矢印参照)。この謎の塔については、回向院で勧進相撲が開かれる際に立てられた相撲櫓という説、井戸掘りの櫓説、歌川国芳の予知説等がありますが詳細は謎となっています。